いわき民報
発行所　いわき民報社
平市田町一丁目一番地　電話三八一番
人行發兼編輯　千葉克己
印刷人　飛田
定價　一部五十錢　一ヵ月　參円

平市五丁目
㊙ 釜屋商店
電九、九九番
同電氣部
電六二二番

關内警防團長問責案

俄然重大問題化に驚き

石山市議賛成署名から退く

流説に信をおけずと

一氣に決議失敗

議題は市會の越權行爲

（既報）過般の市會へ馬目武之助、野崎滿藏、木村淳、石山一治四氏に依つて提案された關内警防團長問責決議案は、常備消防の不信任を意味して居り、俄然重大問題化し、市民の間にもセンセイションを卷き起してゐる

これに對し、平市會は愼重を期し調査委員を擧げ詳細に亘つて事實の有無を精査した上、市會へ報告することになつてゐるが、調査の結果万一決議案の内容に提示されたやうな事實が無く單なる流説だつたとすればどういふことになるか、關内團長としても、警防團常備消防としてもそのまゝ『そうでしたか、それはよかつた』と聞き流しにすまぬ事態が發生するものと見られてゐる

馬目氏の誘導に依つて緊急決議案に賛成し、署名捺印した石山一治市議も、事の重大性に吃驚し、市會終了後萩原市會議長を訪問

内容についてよく知らず『緊急決議案を上提するから賛成してくれ』とのことだつた爲署名したが、問題は重要だから自分の署名を取消す

言通告、決議案から除名することになつたので提案者は馬目、野崎、木村の三氏だけとなつた石山氏の除名は調査委員の報告

馬目市議等から提案された問責決議案なるものは、去月十四日朝佃町の富士興業會社磐城工場で事實の有無を精査した上、市會へ報告することになつてゐるが、調査の結果万一決議案の内容に提示されたやうな事實が無く單なる流説だつたとすればどういふことになるか、關内團長としても、警防團常備消防としてもそのまゝ『そうでしたか、それはよかつた』と聞き流しにすまぬ事態が發生するものと見られてゐる

馬目氏の誘導に依つて緊急決議案に賛成し、署名捺印した石山一治市議も、事の重大性に吃驚し、市會終了後萩原市會議長を訪問

内容についてよく知らず『緊急決議案を上提するから賛成してくれ』とのことだつた爲署名したが、問題は重要だから自分の署名を取消す

言通告、決議案から除名することになつたので提案者は馬目、野崎、木村の三氏だけとなつた石山氏の除名は調査委員の報告

長先づ單なる噂だけでことを決するのは不穏當であると反對し、金古氏は『そんな噂は聞いてゐない』とこれを否定、柴田氏は『警察なり常備消防なりで事實を調査すればよいではないか』と調査委員を擧げることを提議、結局議長指名で實相を調査することになつたもので、一氣に決議せんとの計畫は坐折した

然し實際問題として警防團の監督とか取締りは警察署長がこれに當ることに成つて居り、市會が團長の責任を問ふなどは明かに越權行爲であり、市會の權能としては『斯ふいふ事實があるから常備に多額の市費を投ずるのは無駄だ豫算を削除する』といふやうな場合、その理由として事實を述べるか、乃至は警察署長に實情を具申し、監督の立場にある署長をして責任を執らしむるのが順序であらう、責めることに急にして、市會の權能を超へた問責案も當然問題となる虞れがあり何れにせよ、調査會の結果が三萬五千市民の注目の的と成つてゐる

望樓勤務は休止

怠慢事實常備消防否定

問題の主点は常備消防の駈けつけが遅かつた、それで民家まで焼いたといふにあるらしいが、あの强風中よく延焼を免れしめたといふ聲が多い、常備消防を援護する警防團消防部員の義務制が市の條令に依つて四月一日から十月まで休止に成つてゐることを忘れてゐるのではないか

從つて夜警と望樓勤務も解除され消防部には機關勤務員だけよりゐないことになつて居りいくら近くの火災でも電話が駈け込みで火災を知らせないと常備の消防部員も知らずにゐることになる、右について常備の鈴木班長は語る

火災の朝にバッテリーの充鎭を忘つてゐたといふ事實は絶對にない、故障車は確かに一臺あつたが機械のことだから絶對に故障がないことを保證することは無理だ、故障のあつた四號車は卒襲の際火を潜りそれから隨分修理してゐるのだが時として惡くなること

慢なのは關内團長の責任であるが、結局する處、正邪を見透しもついてゐないので、父兄會、校友會、商友會では學校と協力去る九日第一回共同協議會を開いた結果、この際急速に建設方を縣に要望すると共に市當局の支援をも求めることに決定、明十四日平市役所に伊藤市長を訪れると共に關内、蓮沼兩縣議にも協力方を熱請した上、十七日父兄會々長神谷兼次郎氏商友會會長比佐三郎氏、幹事長坂本忠治氏外十二名が打揃つて出縣、石原知事を始め各關係方面に陳情、一泊の上十八日の縣參事會へも陳情する筈歸來後は復活費の一部は負擔せねばならぬことは明かなので、直に寄附募集にも着手することにもなつてゐる

月曜論壇

警防團いじめ

逆に責任追求か

選擧のあとには必ず何か起る常磐炭礦の重役であり事務部長の中村豊氏が東京本社へ轉任を命ぜられ、郡農業會の大森次長が左遷されて辭め、同内田業務課長にも波及して今尚くすぶつてゐる。幾多の小さい問題は町村に或ひは部落でもセリ合つてゐることであらう。後味が惡い、相反目し合つたり爆發するなど、これが選擧の缺点だが、然しこれに依つて切磋琢磨し、正邪を判別し合つて向上するのかも知れぬ。然し、無根の事實を以て他を陷れんとする犬糞的復讐は徹底的に排撃せねばならぬ。

平市會へ提案された關内警防團長の問責決議案が、蓮沼龍輔氏の參謀格である馬目武之助氏と警防團いじめで夙に定評ある野崎滿藏氏のコンビである處に、市民の疑惑の眼が集つてゐる。成るほど決議案に依るとバッテリーの充鎭を怠り、ガソリンダンクを空にしてゐるなど痛い急所を突いたつもりであらうが、犧牲的精神を以て結集し、爆撃下にありながら克く吾等市民の生命財産保護に當つた常備消防部員が、常識的に考へて五臺のポンプに一滴もガソリンを入れずバッテリーに充鎭させてゐなかたと信ぜられるだらうか一般市民は逆にあの强風中よく喰ひ止めたと讃美したことを認めてゐる。彼等が事實の證據を掘らず、單なる流説に動かされたことが、陷穽を作らんとして智者自ら陷穽に墜ちたことになるのではないか哀れむべき心事である

兎もあれ、吾等市民は市會の調査を注視し、決議案の如き内容が果して存在するとせば、當然警防團長を糾彈すべきであり一人團長の問責に止らず、全團員の退陣を要求する。萬一單に團長を陷れんとする策謀だつたとすれば、吾等市民の警防團の名譽のために、斷乎として排撃せねばならぬ。勿論市會議員たるの椅子から退いて貰ふべきであらう、この点ウカ〳〵署名した石山氏は輕率だつたが、事實を認識するに及んで潔く署名より脱退を通告したことは明を得た處理であつた

平商の新築促進へ

十七日出縣知事と參事會へ陳情

父兄會、商友會立つ

戰災で鳥有に歸した平商業學校は四月から縣立に移管復活に決定したが、未だに校舎建築に着手されず、いつ建設されるかも見透しもついてゐないので、父兄會、校友會、商友會では學校と協力去る九日第一回共同協議會を開いた結果、この際急速に建設方を縣に要望すると共に市當局の支援をも求めることに決定、明十四日平市役所に伊藤市長を訪れると共に關内、蓮沼兩縣議にも協力方を熱請した上、十七日父兄會々長神谷兼次郎氏商友會會長比佐三郎氏、幹事長坂本忠治氏外十二名が打揃つて出縣、石原知事を始め各關係方面に陳情、一泊の上十八日の縣參事會へも陳情する筈歸來後は復活費の一部は負擔せねばならぬことは明かなので、直に寄附募集にも着手することにもなつてゐる

平商は去る十八年戰爭の犧牲として在校生の卒業を待つて二十一年度限り廢校と決定、縣立十一年度限り廢校と決定、縣立平工業に移管されたのであるが戰と共に復活することとなつたので、本年から又生徒募集を開始し女子商業の募集を一學級減じ二學級とし二學級百名をこの四月に入學せしめ、舊平陽女學校跡にある女子商内で校してゐる、從つて校舎の新築が遂れば收容し得ぬため、明年度の募集は出來ないこととなるため急速に新築の陳情となつたもの

尚新築の際は從前の敷地が市から縣へ寄附となつてゐるのでそこに建てる、又全校では明春からは一學級を增し三學級とし百五十名募集すると共に四年制を

肚いせなら

承知しない

小菅消防部長談

徹底的に調査して貰ひたい、但し公共機關を選擧問題にからんで犬糞的な肚いせのうもりだつたら承知出來ない、吾等が自己の職を投げうつて市民の生命財産保護の任に當つてゐるのは、伊達や粹狂では出來ないのだ、責任は勿論何時でも自らの命を投げ出して勤めてゐることを斷言する何れ調査が濟んでから御意見を聽くことにしたい

を公けにされた以上、吾等の立場も明かにして貰ひたい

英靈歸る

十二日に八柱が十二日佛印で散華した八柱の英靈が戰友に護れて平市役所へひよつこり歸つて來た（括弧内は遺族）

松崎富夫（九品寺前）龜松氏）増尾三郎（仲間町）二郎氏）渡邊菊吉（好間村）慶吉氏）林保一（上平窪）保氏）青木敏（鎌田町）眞次氏）猪狩壽也（北目町）フサさん）古川弘文（南町）万次郎氏）森下良雄（二丁目）庄吉氏）

結社の屆出

怠ると解散命令

最近民主々義の流れに乘つて地方にも聯盟、同盟、協會、研究會――等々雨後の筍式に結社が現れて來たが平市役所では一向に屆出がないので次の如く注意してゐる勞組、農組を除く團体結社は即時庶務課へ屆出て貰ひ

いた怠つた場合は解散を命ぜられる場合もある

闇で捕はる

好間村北町無職小沼廣（五五）は岩手縣で米一斗五升を買ひ内一斗を一升四十五圓で轉賣、又卷煙草を一本四十錢で二千四百本を買ひ之を一本五十錢で轉賣平署に檢擧

いわきせ言

▼關内警防團長に對する問責決議案が意外な波紋を卷き起しそうだ、團長の人格を信ずるものは『又か』といふ風に輕く扱ひ、齒牙にもかけないであらうが、身を挺して市民の財産保護に任じてゐる消防部員が恐らく承服しまい、やぶをつゝいて何んとかの觀が深い

▼新緑の季節を迎へた、野良は日毎に忙しさを加へ、ヨチ〳〵の幼兒が一人遊びするやうになる、世の親達は溺死や交通事故に注意が肝要

▼食糧は足らぬ、榮養不調氣味の弱体に悪病が取りつきやすいこれで傳染病でも流行したら泣き面に蜂どころではおさまらぬ

お互ひに衛生を重んじ、周圍を清潔にし病源体を驅逐し、健康な夏を過したいものだ、ペストを防ぐねづみの驅除なども一齊に實施すべきであらう

女學生はどう見た？

問題映畫〝女生徒〟に就いて　平高女生の感想文

『誰にでも親しまれる作家菊地寛原作のメロドラマ映畫化、作者得意の女學生の大膽な生態を描いた問題の名作！』――と大宣傳のもとに平舘で上映された松竹映畫『女生徒と教師』は女學生間は勿論、父兄の間にも教育上の可否論で相當の關心を集めた、その内容は挺身隊として戸川航空機製作所へ派遣された五年生總代隅田なつ子（山中一子）が爆風で氣を失ひ職工長の武田（山路義人）に強姦されたのを組主任の里見良介（增田順二）が責任を負つて結婚すると云ふ荒すじ平女子商業學校ではこの映畫を觀覽した百三十名の女生徒から感想文を寄つた、その結果は次の如く何れも新しい時代に眼ざめた彼女たちの偽ざる告白として仲々興味が深い

ピンと來ぬあの言葉

〝私達は女學生なる前に人間だ〟

あれは單に女學生の人情の機微を捕へたにすぎないと思ひます あれを觀た級友の考へは『良い』と『悪い』との二派に分れてゐますが、良いと云ふ人は『女學生の將來に大なる忠告を與へる映畫』と言ひ、悪いといふ人は『今からあんな』といふ。私達の心が確つかりしてゐればあんなにはならないと云ふ人は別だけど、三年生位ぢや未だしつかりしたと云ふ丈の心が無いのぢやなからうかと思ひます。登場人物の女學生の友人の生徒達の『私達は女學生なる前に人間だ』といふ言葉は私達にはピンと來ないものがあります。學校生活に入つてゐる私達は『教師は慈母殿父の如く』といふ言が身に泌みてゐる故に此の映畫はよくないといふ一言につきます

儲け主義の下劣さ

私はあの映畫を見てもまだはつきり内容の意味が分らないと思ひます、然し女學生は女學生としての正しい勉學に勵む事、人に笑はれない樣な行儀優さしさを失はず、先生をどこまでも尊敬して進む事こそ女生徒としての本分と思ひます

あんな映畫はいけないと思ひます、みんなからお金を儲けやうとしてやつてゐるだけです、下劣です

この樣な映畫は女學生には見せぬやうにして下さい、いくら自由主義でもこう言ふ映畫だけは先生が見廻つて歩いて注意して下さい

映畫の批判はまだ〳〵出來ません、たゞ好奇心が見たにすぎずなにもわからなかつたしんのない映畫だと思ひました

先生は生徒を愛し、生徒は先生を愛すと言ふ事は非常に尊いが、あんなことは眞似をしない方がよいと思ひました

あの映畫には大反對です

師弟の戀愛が大き過ぎる

先づ禁物な映畫

あの映畫を見て第一に感じた事は先生と生徒の戀愛關係が余りにも大であつた事である、生徒は先生を敬愛しなければならない事は當然であるが、師弟の垣を越えてはならぬ筈である、特に女學生が在學中に妊娠する等といふ事は最も謹まねばならぬ事である、否絶對にあつてはならぬ事である。女學生としての自覺を持ち不良少女になつたり男子と交際する事等は禁物であるから注意しなければならぬ。女はその樣な不始末があると一生のきずであり又一生の恥であるから余程女學生としての自覺と純潔な誇りを保たねばならぬ

迷惑千萬

服部甲校長の辯

これについて服部校長は語る女學生は大部反對論を唱へてをりますが學校としても迷惑千万な映畫と思ひます、自由の國アメリカでさへあんな映畫の公開はないそうです、一般に見せて良い映畫と悪い映畫はいくら自由と云つてもはつきり區別して欲しい、特に教育上は然り、戀愛ものだから見て悪いとは云はない、有意義なものなら大いに映畫教育も良いと思てます

開放

青年諸君へ

投書歓迎　紙上匿名可

▼……終戰後街を歩いてみると良い若人達が隨分遊んでゐる、職がないためであらうか？ところが平勤勞署あたりを聽いてみると求人希望は相當にある、それも殆んど青年を望んでゐるとある、然るにこれは一体どうしたことか？

▼……終戰前までは祖國のためにとの意識にかられて働くことに熱意をもつてゐたのが、終戰と同時に軍、官僚の内幕がさけ出され、いまゝで偽られてゐるとの感が強く及ぼすと共に、今後如何に生くべきかの大きな惱みを背負ふての氣拔け狀態になつて求人希望に接かれてゐるのにも依ることであらう

▼……更らに戰時中の徵用で玉石混合の狀態に置かれてすつかり悪い享樂面のみを學んで歸つたのも見逃せぬ大きな原因でもあると思ふ、何れにせよ現代の青年達は不幸であると深い同情はもつに吝でない

▼……然し今後の祖國の運命をその双肩にかゝることを思つたならば、こんな狀態ではゐられない事と思ふ、働きたくともロがないといふことは勤勞署の怠ふ

▼……祖國の滅亡を若し願はぬなら、今日からでも直ぐ職場へ走るべきである、日本は敗戰國なのだ、吾々の前にはただ荊の道があるばかりなのだ、この点を深く心に刻み、安價な安逸感と享樂觀を捨てよ…それが君達の生くる途であり又祖國の生くる途でもあるのだ切に再考を希ふ

（老勞働者）

石はあるのだただ樂をして金は多くと望むからないのだ

世のどを相見うる

湯本に拾ふ活生舎壕

湯本町に現れた舎生活二つ、住宅難と炭礦景氣、それに加へてのインフレ遂行の新興世相が生んだ副産物

◇（その一）伊達郡築館町神藤善吉さん（四四）母さいさん（六二）母子、去月初め崎の齊藤善吉さんの舎の隣の舎が空いてゐるので一先づ落ついて、職探しにと思ふ矢先夫る八日大切に保存して來た米一斗余を盜まれてしまつたとある

◇（その二）新潟縣北蒲原郡神山村生れの天野勘治さん（五九）戰中は東京南千住の橋場工場の小使を勤めてゐたが戰災を被り職を失ふ着のみと着のまゝとなるで鄕里にも歸る宛なく、各地を流れてゐたが、炭礦景氣を目當てに十日程前湯本町に流れ込んだが、家もないので前記天王百性が良いといつても水呑百姓では食へないと炭礦景氣につられて村を出て來たが、善吉さんの身体では炭礦生活は不向とあつて不採用、加へてさいさんが自轉車に衝突して怪我するで今更村にも歸へれず、さりとて貸屋どころか空間もないとあつて窮余の揚句天王崎に立派な防空壕がそのまゝとなつてゐるのでさつそく母子でこゝに世帶をもつたもの、壕舎の入口には過日の人口調査票まで貼られ配給も受けてゐる

戰後花

聽潮庵雜記

……青年に光と希望とを……

筒井　榮

戰に敗れて男の肩から銃と腰かないといつた色々の戒律を知らず〳〵の中に守つて來たに相違ない。それが敗戰以前！戰が守備に傾き特攻隊が新聞や映畫で護國の神として銃後の親達や同胞達につつましい祈りと神々しい感激を喚び起し初めたら、いつとなしに青年達から以上の戒律が破綻し初めた「死ぬ身にとつて酒や煙草の害が何んであらう」

『誰の爲に童貞を續けるのか、斯ういつた一旦のきざしが敗戰以前から青年達の心身をいつしか蝕みはじめた。そして今日敗戰に依つて徵兵檢査も廢止され一方食生活の困難、インフレと失業、前途の希望の喪失してしまつた青年達の身を持することの容易でない事は想像に難くない。況してデモクラシーの誤つた觀念から、心のまゝその日�mの生活が日本を戰敗國からの亡國への導火線とならないと誰が保證出來やうか？

酒、煙草の害や花柳病、トラホーム、結核等の身に及ぼす禍を說く事も必要である。童貞の青年達は說教や訓示といふものに痲痺しまつてゐる。從つて青年に光と希望を與へる事は多分に政治問題であつて偉大なる政治家、教育家の力に俟つものであるが、世間の構成員の一人一人である私達も青年達に溫い思ひやりと、將來を洞察する見識でもつと勵ましてやるべきであらう。と同時に青年達からも先輩といつた、親しい呼掛けを待つてゐるものである。

青年達よ！君等の腕が挺子となつて地球は廻轉するのだ。

（筆者は小名濱町富ケ浦病院副院長、眼科部長を兼ぬる醫學博士）

戀愛文學選

梗概

編みつか

〝蒼茫の海〟

蒼茫たる大海へ掠奪に出掛けた海賊船の水夫達は、掠奪すべき船や陸地に出合はぬばかりか今は飲料の缺乏といふ窮地に陷つて空想的な船長を殺さうと企てる。然し船長の有してゐる不思議な竪琴は船長の身邊に危難ある時は自ら鳴り出して急を救ふ。水夫達は船長の代りにエイブリックといふ男を推さうとするが彼は斥けて却つて船長の夢を曝まさせて歸國させやうとするだが船長は猶も妖しい鳥との約束を守つてこれを聞き入れない。

とそこへ一艘の寶玉や香料を積んだ船がやがてやつて來たので、水夫達は忽ち掠奪を始めて妃デクトラを拉し來る。

丸は王を殺された復讐のためにこの船へ來たのである、然し岸よりも魅長のある竪琴は妃をして船長に想ひをかけさせる。船長は自分は黄金の鎧を着たイラン王でないといひ妃の惑を解かうとするが、二人の上に投げかけられた黄金の網の目は破るよしなく、遂に二人は海上遠くさまよひ出る。（英のウイリアム・ベトラ・イエーツ作）

いわき案内　一回十五圓

トラック運轉手一名ト助手數名急募（高給優遇ス）希望者本人來談サレタシ

平市七丁目　猪狩建設事務所

事務員募集女子二十五才以上ノ自轉車ニ乘レル人

希望者ハ履歴書持參來所乞フ

平市七丁目猪狩專用線事務所

求貸間　四疊半、六疊ニテモ可　當方子ナキ未婚者ナルベク平市内ヲ希ム、空代ノ外相當御禮スル

姓名在社一號

求麻雀パイ　高價買入レ御不用ノ方

御一報下サイ幾組デモ可

姓名在社三號

美術貴金屬、書畫骨董、衣類雜貨、新古家財道具高價ニ買入レマス

平市南町平舘隣　中央會館